

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2021年3月15日（月）16時00分～18時00分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：梅村、田村（元）、寺田（馬場）、鈴木、伊王野、鹿野、早野、長瀧、松田、酒井、富田、田村（陽）、小出、久野、佐藤（文）、山村（事情により遅れて参加した馬場理事と久野理事を除いて14名）

欠席理事：浅田（以上1名）

出席監事：関井（以上1名）

欠席監事：大石（以上1名）

また、米原 次期年会開催地理事候補、深澤 次期年会開催地理事候補、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が14名（最終的に16名）で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2020年12月26日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準 → 正）の承認（資料3、伊王野）

2020年12月24日～2021年3月9日までに正会員入会申請1名、準会員入会申請1名、2021年度より正会員入会1名、2021年度より準会員入会1名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 次期推薦委員会の委員候補について（資料4、鈴木）

次期推薦委員会の委員候補6名（勝川行雄氏（国立天文台）、松本浩典氏（大阪大学）、須佐元氏（甲南大学）、高桑繁久氏（鹿児島大）、中道晶香氏（京都産業大学）、和田武彦氏（JAXA 宇宙研））が提示され、賛成多数で承認された。

II-3. キャリア支援若手委員候補について（資料4、鈴木）

キャリア支援若手委員候補として、佐野圭氏（九州工業大学）、近藤寛人氏（名古屋大学D1）が提示され、賛成多数で承認された。

II-4. 有期雇用契約の職に就く正会員と学生正会員の2021年度会費免除について（資料5、鹿野）

新型コロナウイルス感染症の蔓延継続により、学生会員の経済的困窮の懸念とともに、有期雇用契約の職（いわゆる“ポストク”）に就く正会員の研究活動に対する懸念と将来のキャリアパスに対する懸念は、未だ拭えない。そこで、これらの会員に対する2021年度会費免除を、2020年度と同様な条件と手続きにて実施することが提案され、賛成多数で代議員総会に諮ることが承認された。

II-5. 事務長の雇用期間について（資料6、梅村）

佐藤事務長の雇用期間について、就業規則第28条第2項の定めに従い、2022年3月末まで延長することが提案された。賛成多数で承認された。

II-6. その他

長瀧理事(PASJ)より、PASJ論文賞の内規が選考の実態と合わないところがあるため、内規を改訂した方が良くだろうという意見があった。今後実務理事会で検討した上で、次回以降の理事会で正式な議題として提案する見込みである。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告(資料3、伊王野)

2020年12月24日～2021年3月9日までに2021年度から休会1名、準会員退会4名、団体会員大会1名があったことが報告された。

III-2. 共同利用・共同研究拠点申請における要望書依頼について(資料4、梅村)

各大学に設定されている共同利用・共同研究拠点を提案・継続できないかという依頼が天文学会にあった。2021年2月1日の実務理事会でこのことについて審議し、天文学会に依頼された要望書の提出には対応しないこととしたことが報告された。

III-3. ネットワーク委員会からの報告(資料7、田村陽)

新・学会ホームページ(HP、令和2年12月9日公開)の運用を開始し、軽微な修正や年会関連のコンテンツの追加を行った。学会HP・サーバ保守を実施し、技術的な障害は生じていないことが確認された。また、保守契約に関して、契約先の運用体制の不備(設定不備によるログの自動消去)があり、12月・1月の運用保守報告が欠落する瑕疵があった。その後、運用体制の改善とセキュリティ上の問題の精査が行われ、今後の運用上に問題がないことが確認されたことが報告された。

III-4. 公開講演会(3/20)の準備状況について(資料8、佐藤文)

3月20日に公開講演会を開催する。日本天文学会ホームページで参加申し込みを受け付けている。各団体、全国の高校にポスターとチラシを送付し、雑誌等にも掲載を依頼したことが報告された。

III-5. PASJ編集委員会からの報告(資料9、長瀧)

増刊号として73巻SP1号に分子雲衝突特集を刊行し、73巻1号では光学・赤外線天文学大学間連携(OISTER)特集を掲載した。また、論文のページ付け方法が変更された。2020年12月23日に編集顧問・編集委員会議を開催し、受理論文の早期公開の時期、広報活動の一環としてHighly Cited Paper Collectionsの出版、紙版の廃止、論文賞での自薦の取扱い、投稿の手引きの改訂、特集企画提案のガイドライン作成などについて議論したことが報告された。

III-6. 天文学振興財団の確証の進捗状況報告(資料10、梅村) :

令和2年度天文学業績表彰(古在由秀賞、吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞)の選考結果が報告された。

III-7. 年会報告(資料11、酒井)

明日(3月16日)から年会を開催する。接続情報を配信した件数は、関係者101件、講演者547件、参加登録者743件の計1391件であった。また、年会発表賞を新設することについての意見があったことから、年会後のアンケートにこの設問を追加することが報告された。

III-8. 天文教育委員会からの報告(資料12、富田)

3月17日に「天文学からSDGsへのアプローチ」というテーマで、沖大幹氏(東京大学/UN)、渡部潤一氏(国立天文台/IAU)を話題提供者として迎えて天文教育フォーラムを開催予定である。監修者紹介プログラムの受付を開始し、これまでに2件の依頼があった。IAU OAE(教育のための天文学推

進室)の天文教育コーディネーター(NAEC)日本チームについての報告があった。また、次期天文教育委員会への現天文教材委員長の玉澤春史氏をオブザーバーとして迎えることが報告された。

III-9. 今後の年会開催地の進捗状況報告(米原)

京都産業大学(米原) : 9月13-15日に現地開催を予定している。会場の準備が進んでいることが報告された。

広島大学(深澤) : 3月16-19日の予定で教室を予約してある。公開講演会の会場も決定済みであることが報告された。

III-10. 事業担当理事からの報告

庶務理事(鈴木) : 特になし。

ジュニアセッション(山村) : 3月20日にオンライン開催される。

記者会見(田村元) : 本日、年会のオンライン記者会見(3件)が行われた。

月報(松田) : 海部氏のロングインタビューが完結する。各賞の記事が掲載された。

III-11. 事務所の近況報告(佐藤良) :

オンライン年会に事務所として対応していることが報告された。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会(2020年12月26日)議事録(案)

資料3 加入者の承認。移籍の承認・報告、退会の報告

資料4 次期推薦委員会の委員候補について、キャリア支援若手委員候補(2021年6月から2年間)、共同利用・共同研究拠点申請における要望書依頼について

資料5 有期雇用契約の職に就く正会員と学生正会員の2021年度会費免除について

資料6 事務長の雇用期間について

資料7 ネットワーク委員会活動報告(令和2年12~3月期)

資料8 春季年会公開講演会準備状況

資料9 PASJ 編集委員会からの報告

資料10 公益財団法人天文学振興財団 令和2年度天文学業績表彰選考結果

資料11 年会についての報告

資料12 天文教育委員会より、前回理事会(2020年12月26日)以降の活動報告

2021年3月15日

会 長 : 梅村 雅之 印

副会長 : 田村 元秀 印

監 事 : 関井 隆 印